

日本共産党 2017年12月17日
里吉ゆみ都議事務所だより

〒154-0002 世田谷区太子堂4-5-2 ☎(3419)7721

**ベテラン弁護士が親切に対応
生活法律無料相談**

12月は20日、27日の水曜日
午後6時～8時【要予約・田副まで】
☎(3419)7721、(3427)1225

都民のくらし充実の願いをかけて——決算委員会で論戦

里吉ゆみ都議は、10月と11月、会計決算特別委員会で都民の切実な願いをかかげて小池都政の都政運営をただしました。

子育て分野では、産後うつ予防と産後検診、不登校・中途退学予防、就学支援金り援助拡充、医療的ケアが必要な子どもの通学支援、スポーツでは区市町村の施設への整備費補助拡大、スポーツ参加率の向上、福祉では特養ホームの整備、介護職員の待遇改善を取り上げました。

介護職員の宿舎借り上げ促進の検討を約束

東京の特養ホーム待機者は3万人を超えています。整備率は全国下から二番目の46位。原因は大型も地域密着型の運営費が低いため整備が進みません。里吉都議は、運営費補助の拡大、整備目標を持つことを求めました。

▲オリンピック・パラリンピック特別委員会で質問

また、介護職員の待遇改善として、宿舎借り上げ支援事業の予算執行率が14%と低いことを指摘し、制度の改善を求めました。都は、事業の周知と補助対象拡大を検討すると約束しました。

世田谷線にもシルバーパスが使えるように

里吉ゆみ都議は、年内に東急電鉄に申し入れを予定しています。詳しくは次号をご覧ください。みなさんのご要望を事務所までお寄せください。☎(3419)7721

【うら面もお読みください】

第4回都議会定例会の報告会をひらきます

12月1日から今年最後の都議会定例会が開かれました。豊洲移転問題や国保料の大幅値上げ、子どもの貧困、子ども食堂などたくさんの声を都政にしめしました。これらの内容をご報告します。ぜひご参加ください。

日時：12月25日（月）午後4時～

場所：三軒茶屋里吉事務所

子ども食堂支援する

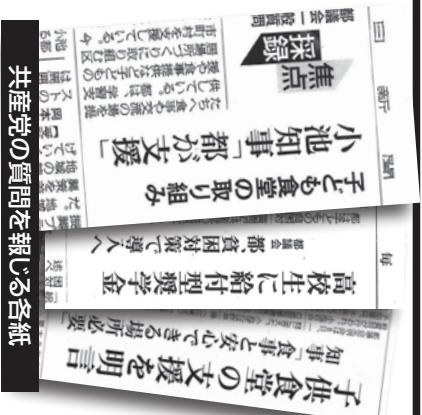


里吉 ゆみ

都議会議員（世田谷区選出）
たよし・ゆみ

親の長時間労働、広がる格差と貧困が、子どもをめぐって深刻です。都政がその打開に力をつくすことが必要です。子ども食堂への支援、学校給食費の無償化や返済不要奨学金拡充など子どもを守る政治実現へ全力をあげます。

子どもを守る政治を



共産党都議団は、子どもに無料または低額で食事を提供する子ども食堂について「親の長時間労働の広がりや孤食、なっている子どもに、楽しく栄養バランスを考えた食事を提供している意義は大きい」と指摘。知事が昨年子ども食堂を訪ねたことについて、その役割と重要性への認識と支援をどのように考えているか、ただしました。

小池知事は、子どもが「安心して過ごせる居場所があることが重要」とし、「私も子ども食堂に向う取り組みを進めることが必要だ」と答へ、制度的にも持続可能な形で取り組みを進めることと答へ、子ども食堂のようないくつかの取り組みがさらに進むよう「子ども食堂の取り組みを進むよう」と述べました。

子どもの貧困対策を迫る

共産党都議団は、都が大学と連携して行った調査で生活困難層の子どもが2割以上に上るなど深刻な結果になったこと、子どもの貧困対策について認識をたすとともに「具体的な指標と目標を持つべきだ」と迫りました。小池知事は「調査をふまえ、今後子どもたちの貧困対策を総合的にすすめていく」と答へ、担当局長は見直しを行う「子ども・子育て支援総合計画」に「子どもの居場所づくりや子どもたちの貧困対策」に取り組み、町村への支援、高校生を対象とした給付型奨学金などの事業も盛り込む」と答弁しました。

広がる「孤食」。子ども食堂の

子ども食堂の取り組みがさらに進むよう「子ども食堂の取り組みを進むよう」と答弁しました。

日本共産党都議団は12月8日、都議会本会議の一般質問で、子ども食堂への支援や子どもの貧困対策の充実を小池百合子知事に求めました。小池知事は「子ども

日本共産党

東京 民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2017年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行 / 東京民報社 (港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

共産党都議団の要求に 小池知事が答弁